

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年2月25日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから2月25日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、2ページ目の3月1日の（5）、ALPSの審査会合ですけれども、これは引き続き、これまでに出たコメントへの回答ということになります。

次が、3月3日の（8）ですけれども、火山の発生メカニズムに関する意見聴取会合ということで、これは1月19日と2月2日の委員会で、地層処分において考慮されるべき事項を検討するために、火山の専門家に聞くということが了承されましたけれども、その第1回会合ということになります。火山の発生メカニズムなどについて意見を聞くこととなります。

今後何回か開催をしまして、来年度の第1四半期中、つまり6月までに意見を聞いた結果を委員会に報告するという予定になっています。

次が、3月3日の（9）、輸送容器に関する審査会合です。

議題は1つで、原子燃料工業による設計承認申請についてということで、2月7日の会合でのコメントへの回答ということになります。

3月3日の（10）、第1032回審査会合。

議題は2つありまして、女川の有毒ガス防護のバックフィットと泊の防潮堤についてということになります。

次が、3月4日の（11）、第1033回審査会合です。

これは特重が議題なので、非公開となります。柏崎刈羽の地盤、斜面安定性についてということが議題です。

次が、3月4日の（12）、核燃料施設等の審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目が、JAEAの放射性廃棄物の廃棄施設の変更許可。1月18日の審査会合でのコメントへの回答となります。

2つ目は、常陽です。解析コードについてのコメントへの回答と、事後の拡大防止措置に関する説明ということになります。

説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—